

インターバンクの声（2017年3月15日）

明日 3/16、日本時間の未明には米連邦公開市場委員会 (FOMC) で利上げが決まる可能性が高まっている。そのためドル円は、昨日の東京時間の夕方からロンドン市場の朝にかけて 115 円台に乗せてドルの上値を確かめるような展開となったが、結局ニューヨーク市場ではここ最近のドル円のニュートラル・ゾーンとも言える 114 円台中盤から後半の水準に戻ってしまった。

原油価格の下落が続き、米長期金利のわずかな低下が影響したのかも知れないが、やはり注目の FOMC 終了後に発表される FOMC メンバーによるドット・チャートが気になっているのだろう。金利見通しの内容に変化がない可能性もあり、その場合にはドル売りの反応となるリスクを感じ取ったためかも知れない。

週明けの二日間、東京市場の午後にはドル円をはじめとする主要通貨に動きがなくなる時間が目立っており、今日はそれ以上に様子見になる時間帯が増えそうだ。明日の未明にドルが 115 円台中盤を上抜けていこうなら新たなレンジ形成の始まりになりそうだが、再び 115 円台で上値が重くなるようであれば、しばらくは最近のレンジが継続しそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。